

～自然体験交流ツアー概要～

文責：岩下

- 実施日：2010年8月29日(日)
- 参加者数：18人(一般参加者を含め、鹿児島大学生が大多数)
- 活動内容：カヌー、大平岳登山、陶芸体験、稚児の滝散策など

<詳細スケジュール>

- 8:30 鹿児島大学出発
- 9:30 南薩少年自然の家にてカヌー教室
- 11:30 ハマボウとハクセンシオマネキ観察
- 12:00 昼食(レストランるぴなすにて、カボチャラーメン)
- 12:45 るぴなす出発、金峰町長谷集落へ
- 13:30 大平岳登山
- 14:30 陶芸教室
- 15:30 稚児の滝周辺散策
- 16:00 長谷出発
- 17:00 鹿児島大学到着

■活動記録

○出発

8時30分に鹿児島大学附属図書館前に集合し、鹿児島大学を後にしました。遅刻をする人もおらず、余裕を持って出発することができました。



～自然体験交流ツアー概要～

文責：岩下

○カヌー体験

9時20分頃、南薩少年自然の家に到着し、職員の方からカヌーに乗る際の注意点などの説明を受けてカヌーに乗りました。3組に分かれてカヌーに乗りましたが、どのチームもかけ声をだして頑張りました。ちょうど満潮の時に、漕ぎやすいというお話でしたが、潮の引きが強く、漕ぐのが大変でした。万之瀬川の真ん中でカヌーをいったん止め、辺りの説明を舵取りのために同乗して下さった職員の方がしてくれ、知識が深まりました。



再び漕いで対岸に着いた際、ハマボウやハクセンシオマネキなどの自然を観察しました。万之瀬川の左岸約1キロメートル、最大幅約100メートル、80,610.16平方メートルは、平成19年に「万之瀬川河口域のハマボウ群落及び干潟生物群集」の名称で国の天然記念物に指定されたそうです。ハマボウの花が咲く時期は6月下旬から7月らしいですが、一部咲いている部分もあり、幸運にも淡黄色の美しい花を見ることができました。3組ともカヌー体験を終えた後は、カヌーを拭いて後かたづけをし、南薩少年自然の家を出て、吹上浜海浜公園キャンプ場に向かいました。途中でサンセットブリッジの下でバスをとめ、川沿いにある、江戸時代につくられたという船の係留柱を見ました。



～自然体験交流ツアー概要～

文責：岩下

○昼食

12時にレストラン「るびなす」でカボチャラーメンをいただきました。なぜカボチャ？と思っていたのですが、カヌー教室の時に特産品だということを伺って納得いきました。冷やし中華風で暑い夏にはぴったりでした。麺にもカボチャが練り込まれていて美味しかったです。

南さつま市の皆さんが智慧を絞って生み出した、特産品を生かしたカボチャラーメンは最高でした。



○大平岳登山

その後少し休憩をとり、12時45分過ぎに「るびなす」を出発して、13時30分頃、大平岳の登山口に着きました。山自体は小さく、登るのにかけた時間も短かったのですが、落ち葉で滑りやすかったり、急勾配だったりして大変でした。頂上に着いたときの見晴らしは最高で、360°見渡すことができて圧巻でした。福元拓郎さんが大平岳から見える周囲の山々に関する解説をして下さり、改めて鹿児島の良いさを認識しました。

～自然体験交流ツアー概要～

文責：岩下



○陶芸体験

大平岳を下りた後、14時30分頃に長谷集落の交流館に到着しました。集落の方にアイス頂き、心遣いが嬉しかったです。陶芸体験の前に竹燈籠まつりの説明を受けました。とても興味深く、竹燈籠まつり当日だけでなく、準備にも参加したいと思いました。

陶芸体験は、日置市在住の鮫島義昭さんが指導をしてくださいました。お皿をつくる人と湯呑みをつくる人に分かれ、鮫島さんの心温かいアドバイスを受けながら楽しく、陶芸づくりに取り組みました。



○稚児の滝周辺、散策

その後は陶芸が終わった人から順に稚児の滝の周辺を散策しました。水量は少なかったのですが、水は澄んでいて冷たく気持ちよかったです。あっという間に16時になり、長谷集落を出発して、17

～自然体験交流ツアー概要～

文責：岩下

時 10 分に鹿児島大学到着、解散しました。



今回の自然体験交流ツアーはとても充実していて、本当に参加して良かったと思いました。カヌーや登山、陶芸などメニューが豊富だったのでスケジュール通りに進むのかと不安でしたが、無事スムーズに進んで、欲張りなプランだとつくづく思いました。鹿児島市内でも自然はありますが、今回桁違いの雄大な自然に触れることができ、大満足でした。台風の影響で日程が変更して参加者が少なくなってしまったのですが、是非他の人も体験して欲しいと思いました。

また、今回の自然体験交流ツアーは NPO 法人プロジェクト南からの潮流さんと企画段階からの本格的な連携をしながらの企画でした。そして、ツアーの最中は福元拓郎さんが時折、冗談を交えながら南さつま市の魅力をガイドして下さりました。多くの地域の皆さんの協力を前提に「自然」と「ひと」との交流を通してのツアーは大変意義深いものだと思います。



◇活動記録担当：宮園

◇写真記録担当：村中、藤本

◇総合編集担当：麦生田

～自然体験交流ツアー概要～

文責：岩下

◇自然体験交流ツアープロジェクトチームメンバー
麦生田(総責任者)、徳永、藤本、今門、田畑、宮園